

■講座 おいしい静岡茶の入れ方とお話し

旧マッケンジー住宅とは

旧マッケンジー住宅は、静岡市駿河区高松の海岸沿いに建つ、白い壁が美しい洋館です。この屋敷に住んでいたダンカン・J・マッケンジーとエミリー・M・マッケンジーの夫妻は、大正7年にアメリカから来静して、日本茶業界の拡大に貢献した人物です。富士山が好きだった夫妻は、昭和15年に富士山のよく見える高松の海辺を選んで自宅を建設しました。

この建物を設計したのは、日本各地に多くの作品を残した建築家のウィリアム・M・ヴォーリズです。赤い西洋瓦葺きの屋根、スタッコ仕上げの荒い白壁、アーチ型の窓などが用いられたスパニッシュスタイルの住宅で、夫妻はこの屋敷にペガサス座の星の名から取った“HOMAM(ホمام)”という愛称をつけて親しんでいました。

昭和47年に夫人が帰国した際に屋敷の敷地の半分が静岡市に寄贈され、残り半分と建物は静岡市が買い取りました。現在は一般に公開されています。

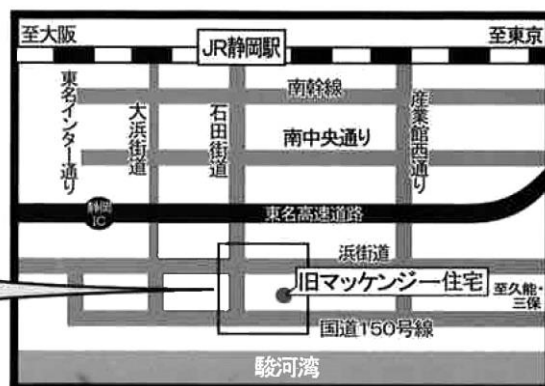
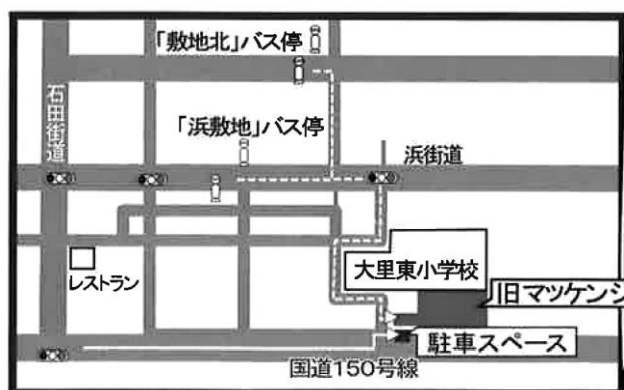


▲国登録有形文化財。中央の展望室からは、美しい富士山と海を眺める事ができます。

■会場アクセス

<行き方>

- バス：しずてつジャストラインバス石田街道線、「浜敷地」または「敷地北」下車、徒歩5分。
- 車：下図矢印のとおりに入場してください。(国道150号線から右折進入はできません) 駐車スペースが限られているため、できるだけ公共の交通機関でお越しください。



<旧マッケンジー住宅のご案内>

住所：静岡市駿河区高松 2852 番地 TEL：054-237-0573

開館時間：午前9時～午後4時30分 月曜休館 祝休日は開館、翌平日休館

入場料：無料